

<福島県納税貯蓄組合連合会長賞>

みんなを支える税

鏡石町立鏡石中学校

3年 村上 真実

僕はあまり税について知らなかった。税が自分達の役に立っている実感も無く興味も無かったからだ。何の為にそんな物があるのか全く分からなかったので僕はあっても無くても変わらないだろうとさえ思っていました。しかしある時自分が税のおかげで恵まれている事に気づくことが出来ました。

僕は学校で特設駅伝部をしています。僕達の町には大きな陸上競技場があって、ウチの学校はよくそこで練習をしていました。しかしその週は予約が全て埋まってしまっていて使うことが出来ませんでした。その為学校の校庭で練習せざるを得ませんでした。しかし、水はけが悪い校庭は雨のせいでぬかるんで靴は泥で汚れる。滑るから足場は悪い。湿った校庭という悪い環境に慣れていない僕達はまるで練習になりませんでした。その時に今まで自分がとても恵まれていた事に気づきました。いつも足場がしっかりとした中で練習できるのは他の晴れの日も雨の日も校庭で練習しなくてはいけない学校からしたら異常なことだし、理不尽に思えるくらい恵まれた環境だと思います。僕の監督は以前こう言っていました。

「選手は家族や先生などの周りの人、練習道具などのいろいろな物に支えられているから全力でプレー出来るんだ。」

本当にその通りだなと思いました。いつも僕に美味しいご飯を作ってくれたり応援してくれる家族。走るフォームから呼吸法まで何でも親身になって指導してくれるコーチや監督。僕の足をケガから守ってくれているシューズ。今まで様々な物が僕を支えてくれていました。そして、ずっと気付いていなかったけれど競技場もどんな時も僕達が練

習が出来るように支えてくれていました。

先生に聞いた話によると僕が住んでいる町は国からの補助金を使って他にも野球場や多目的グラウンド、テニスコートなどのスポーツ施設を整備しているそうです。そして、それらの補助金には国民からの税金が使われています。さらに調べてみると日々のサービスの数々も税で行われていることを知りました。例えば救急車を呼ぶのにも、医療費や交番、ごみ収集でさえも国が国民の為に税を使って行っているのです。

僕は今まで税のありがたみを感じたことがありませんでした。しかし税は僕達が知らないだけで、到るところで国民を支えてくれていました。それを考えると税はとても素晴らしい物だと思います。今僕が納めているのは物を買った時の消費税だけの僅かな物です。

これから大人になっていくにつれてもっと多くの様々な種類の税を納めるようになっていくと思います。僕は将来、職に就いて頑張って働いて、そういった物をしっかりと納めて税が人を支えるのを少しでも手助けしたいと思います。